

胡弓演奏家 木場大輔

日本独自の擦弦楽器・胡弓の伝統を伝え革新する、史上稀な胡弓専門奏者



淡路島出身。甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を原一男師に師事。一方で京都・大阪・東京の古典胡弓および文楽、風の盆、尾張万歳など日本各地で伝わる胡弓の奏法を研究。それらを組合せた演奏法の開発や、作曲、低音域を拡張した四絃胡弓の開発、世界唯一の巨大三味線「豪絃」をコントラバス弓で重低音の胡弓として使用した最先端のアプローチなどにより、胡弓の伝統に新たな光を当てている。

2015～2017年、NHK WORLD「Blends」に出演し、演奏が全世界に放映される。

2021年より東京・紀尾井小ホールにて、胡弓の伝統と革新をテーマに、胡弓リサイタルを毎年開催。文化庁芸術祭参加（2022年）、豪絃独奏曲「雲龍」作曲初演（2023年）など、常に注目を集め、高く評価されている。

文化庁他主催「NOBODY KNOWS」の映像作品や、NHK Eテレ「新・にっぽんの芸能」、国立劇場主催公演への出演など、古典から現代邦楽、ユニット活動、異分野との共演まで幅広く活動中。

作曲では胡弓独奏曲から邦楽器や世界の伝統楽器との作品まで展開している。

これまでにCD「Japan(2011)」「時の回廊(2015)」(木立)、「キイトビラ(2018)」「郡上八幡 絲あそび(2023)」(生糸)、DVD「木場大輔 胡弓 ウェブリサイタル(2020)」などを発表。

「木場大輔 胡弓の会」「異文化弦楽団」「絹擦会」代表。

古地図歩きと食文化の探求（スパイス、発酵食、クラフトビール）が趣味。東京都在住。

【活動ユニット】

和楽器ユニットおとぎ（2004～） 筑前琵琶、胡弓、尺八、箏

KODACHI ～木立～（2009～） 胡弓、ピアノ

生糸（2013～） 胡弓、箏

異文化弦楽団（2021～） 胡弓、二胡、ガドゥルカ（ブルガリア）、チェロ、打楽器

【テレビ・ラジオ出演】

NHK FM「邦楽ジョッキー」(2014)
NHK WORLD「Blends」(2015,2016,2017) 全世界で放映
BSテレ東「おんがく交差点」(2017)
NHK総合「バナナゼロミュージック」(2018)
NHKラジオ「ラジオ深夜便」(2018)
NHK Eテレ「新春眼福!花盛り」(2019)
NHK Eテレ「にほんごであそぼ」(2019) 録音参加
NHK Eテレ「新・にっぽんの芸能」(2022)
NHK総合「うたコン」(2023) ほか



NHK WORLD 収録風景 (演奏: 木立)

【映画・ドラマ・アニメなど劇伴】

映画「カムイ外伝」(2009)
NHK BS時代劇「新選組血風録」(2011)
映画「駆込み女と駆出し男」(2015)
NHK 連続テレビ小説「わろてんか」(2017)
映画「輪違屋糸里」(2018)
映画「CHAIN/チェーン」(2021)
フジテレビ ドラマ「大奥」(2024)
TVアニメ「戦国妖狐」(2024)
ハリウッドドラマ「SHOGUN 将軍」(2024)
シネマ歌舞伎「刀剣乱舞 月刀剣縁桐」(2024)
TVアニメ「推しの子」(2024)
NHK 連続テレビ小説「虎に翼」(2024) ほか



「新・にっぽんの芸能」収録風景 (演奏: 生糸)



NOBODY KNOWS「うつりゆく季～花鳥風月～」

【舞台・動画配信】

ホリ・ヒロシ「人でなしの恋」(2018)
NOBODY KNOWS「うつりゆく季～花鳥風月～」(2021) 尾上右近主演
朗読劇「天守物語」(2022,2023) 篠井英介主演
歌舞伎「刀剣乱舞 月刀剣縁桐」(2023) 録音参加
宝生会「夜能 道成寺」(2024) ほか

【参加CD】

斎藤守也 (レ・フレール)「旅」(2013)
吉田兄弟「Horizon」(2014)
活撃 刀剣乱舞「活撃特典音楽集 参」(2017) ほか

【作曲】

「組曲 古事記 第一番・第二番」「シルクロード組曲 第一番・第二番」「焰」「恒河沙」
「襲」「嘉兵衛の海」「春疾風」「あの雲のむこう」「四人の律動」「雲龍」 ほか

木場大輔活動トピックス

「木場大輔 胡弓リサイタル」4年連続開催決定！

胡弓の伝統を継承しつつ応用・革新し、未来につなげる邦楽公演。
胡弓の伝統曲から、世界唯一の巨大三味線「豪絃」を重低音の胡弓として使用した最先端のアプローチまで。日本を代表する邦楽専門ホールにて、第一線のゲスト陣と奏でます。

2024年9月19日19時、紀尾井小ホール（東京・四ツ谷）にて。



胡弓と世界の擦弦楽器による「異文化弦楽団コンサート」開催！



日本の胡弓、中国の二胡、ブルガリアのガドゥルカ、西洋のチェロ。世界各地で進化した擦弦楽器と中東の打楽器が、お互いの個性と文化を尊重しながら奏で合い、ユーラシアを横断するような唯一無二の弦楽アンサンブル。2021年の結成より演奏を重ね、2024年7月11日、MUSICASA(東京・代々木上原)にて、初の単独公演を開催いたしました。

和楽器とシルクロードの楽器による「シルクロード組曲 第二番」を発表！

2020年、一般社団法人 SILKROAD JAPAN の委嘱により、「シルクロード組曲 第二番」



を木場大輔が作曲。胡弓、雅楽の笙、正倉院復元楽器の排簫、箏、三味線、インドのバーンスリー、イランのサントゥール、アラブのウッド、中東の打楽器によるシルクロードアンサンブルにて、同12月、紀尾井小ホールにて初演いたしました。

淡路島が生んだ英雄・高田屋嘉兵衛のテーマ曲「嘉兵衛の海」を発表！

兵庫県洲本市五色町商工会の委嘱で、淡路島出身の英雄・高田屋嘉兵衛の生涯に基づいた「嘉兵衛の海」を作曲、2018年の「高田屋嘉兵衛まつり」にて初演しました。2019年には小山丈編曲による吹奏楽版を、五色中学校ブラスバンド部と木立のコラボ演奏で発表しました。



胡弓について

胡弓は日本独自の擦弦楽器。中国の擦弦楽器「二胡」と混同されがちですが、全く別の楽器です。富山県の民謡行事「おわら風の盆」や、文楽・歌舞伎の「阿古屋」などで使われることでも知られています。

胡弓は江戸時代初期には成立し、三味線や箏の演奏家により洗練されてきました。

その反面、三味線や箏の引き立て役に回ることが多く、胡弓のために作られた僅かな本曲を除き、演奏の主役になる機会に恵まれてきませんでした。そのため胡弓専門の演奏家がほとんど出ず、その豊かな音楽性が一般に広く知られる機会がないまま今日に至っています。

日本の弦楽器の中でも「持続音」が出せることが大きな特長であり、伝統文化の価値を現代と未来に繋ぐ架け橋となり得る楽器と言えましょう。



おわら風の盆 (2022)

淡路人形座でのゲスト公演 (2018)